

令和3年 新年のごあいさつ



洞爺湖町議会議長

大西 智

新年明けましておめでとうございます。
皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の2月から現在まで、新型コロナウイルスが全国で猛威を振るい、多くの人が静かな年末を過ごし、静かな年始を迎えたのではないかと思います。コロナ禍により、常にマスクを着用し、外出を控え、会食など人の集まる場所では距離を取り密とならないようにするなど、日常の暮らしやこれまで普通に行っていたことが制限されることとなり、普段の生活や社会経済などへ大きな影響を与え続けています。

また、感染が拡大している地域では、その治療を主に行っている医療機関における病床数の増や医療従事者の確保に苦慮するなど、大変厳しい事態となっています。私たち一人ひとりが感染予防対策にしっかり取り組むことが、感染拡大防止に繋がるとともに、1日も早い収束に向けた行動ともなりますので、これまでと同様にご協力をお願いしたいと思います。

当町におきましては、令和2年度当初から、町独自の生活支援や事業者支援の対策を積極的に実施し、感染防止対策にも努めてまいりましたが、未だに収束が見えない状況下では、今後も引き続き取り組みが必要であります。議会としましては、町や関係機関・団体と連携、協力しながら必要な対策の推進に努めてまいります。

議会におきましては、平成26年度より1年間の会期とする通年会期制とし、必要なときはいつでも議会を再開することができ、委員会の活発な活動など、議会の主導的な活動に取り組んでいます。本年も引き続き、町民の代表として、議員一同決意を新たに議会活動に取り組んで参りますので、町民皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆さまにとってより良い年となりますようにお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



洞爺湖町長

真屋 敏春

明けましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃行政へのご支援、ご協力に対し、深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、「緊急事態宣言」が発出され、町が毎年開催しています「洞爺湖マラソン」「北海道ソーデーマーチ」などのイベントが中止となりました。そんな中、町民皆さまのご協力のおかげで、洞爺湖有珠山ジオパークがユネスコ世界ジオパークとして4年間の再認定を受けました。また、入江・高砂貝塚を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」のユネスコ世界文化遺産登録を目指しているところであり、昨年の秋に現地調査が行われ、今年の春ごろに審査の結果が発表となります。

今年の重点事業としましては、昨年に引き続き虻田地区の道路・交通網、洞爺湖温泉大通り線歩道の改良整備を進めてまいります。観光インフラ整備面につきましても、昨年から整備を進めていた、森林博物館やアイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」が春に完成予定、JR 洞爺駅構内エレベーターについても秋までには完成予定であり、観光客の受け入れ態勢の充実を図ります。

昨年に引き続き、収束の見えない新型コロナウイルスにより、地域に与える影響は甚大なものであることが予想されます。町としては、昨年「新型コロナウイルス特別対策室」を設置し、新型コロナウイルス対策へ尽力してきたところですが、引き続き支援を行っていきたいと考えています。また、感染拡大防止のためには、町民の皆さまができる、マスクの着用や手洗い・うがいの徹底など、感染予防対策が必要となってきます。町内一体となり「オール洞爺湖」で感染拡大防止にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆さまが、健やかで、明るい希望に満ちた1年となりますようご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。